

農業・農村・環境問題に経済学で挑む。

資源管理学研究室

駄田井 久 准教授
東口 阿希子 助教

研究内容

地域資源の効率的かつ持続的な管理・活用方策により、持続的社会的な構築を目指す研究です。経済学・経営学・地域計画学が融合した学際的な研究分野になります。

国内の中山間地域から途上国の農村地域まで幅広い研究フィールドで調査・研究を実施しています。

研究方法

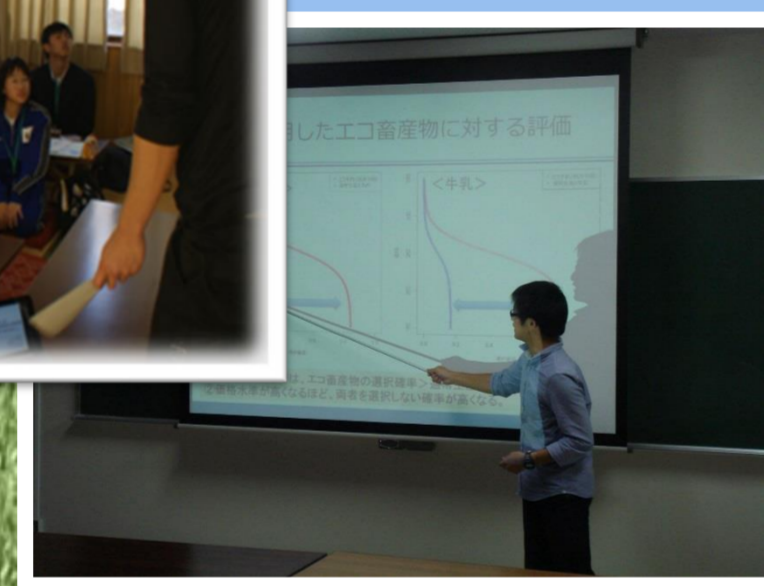
キーワード: フィールドワーク、経済学、統計学、柔軟な発想



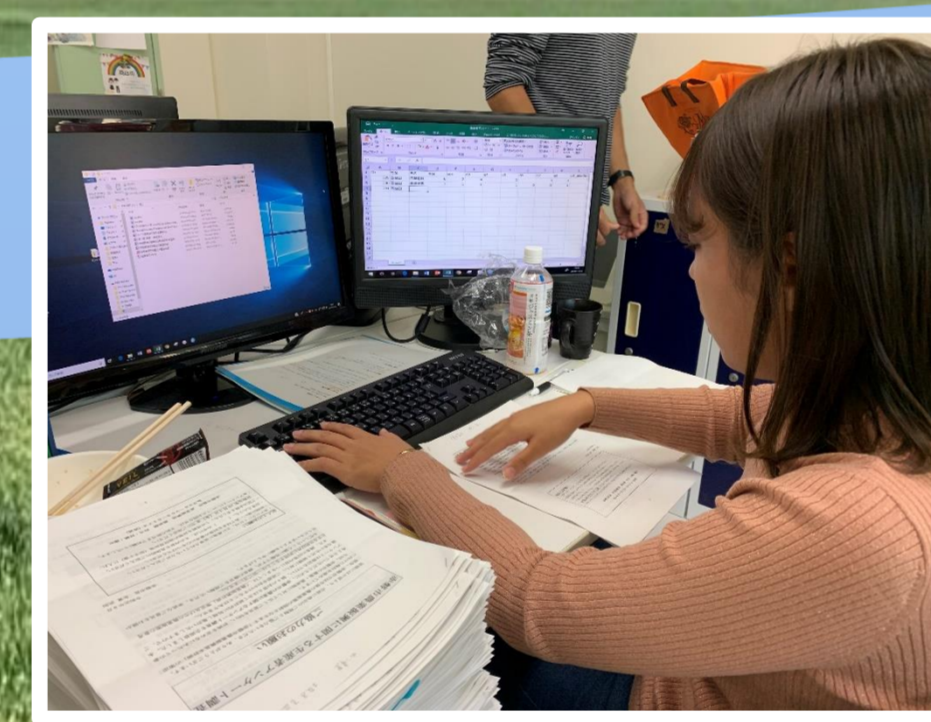
①現地調査
研究テーマを決める！



②データ収集
農家・地域住民を対象にアンケートでデータを集める！



④研究成果の現場還元
農業の現場や自治体の政策立案に貢献できる！



③データ分析
「経済学」「統計学」の手法を用いてデータを分析して解決策を考える！

研究テーマ

【スマート農業】
スマート農機の軽労化効果測定



【サプライチェーン】
モモの共同選果場が個別経営体に及ぼす影響



【海外の農林水産業】
遠隔産地の環境保全型養殖エビに対する消費者評価



【農業関連施設の運営】
道の駅運営への住民の参加意向

分属学生

博士前期課程×3 博士後期課程×1
4回生×7 3回生×4

進路状況

- 大学院進学
- 食品産業・小売業・外食産業・銀行・商社
- 農林漁業金融公庫・農業団体（中央畜産会）
- 公務員（農林水産省・岡山県庁）
- 研究機関（独立法人農業生物資源研究所）
- 農家

研究室は、農学部III号館3階です。